

みんなで地域づくり事業企画書

<p>団体名</p>	<p>おしゃべりサロン「ぬくもり」</p>	
<p>事業名</p>	<p>高齢者の居場所「ぬくもりの家」のバリアフリー化事業</p>	
<p>目的・必要性</p>	<p>高齢者が安心して利用できる居場所にするため、加齢からくる体力の衰えに呼応、対応し身の安全を図るために早急な対策が必要 バリアフリー化することで利用したくても利用できなかった方が安心して利用できる 地域で自助、共助で助け合い介護保険の利用をできるだけ先送りできるようにする</p>	
<p>内容</p>	<p>① 道路からぬくもりの家の出入口までのところをスロープ化し手すりをつけ通路の幅を広げる。車いすでも通れるようにまた一人では歩行困難な方も付き添いの方と一緒に通ることができる ② 部屋の段差をなくし、手すりをつける ③ トイレのバリアフリー化し安全に使用できるようにする ④ バリアフリー化しながら通常の活動を行う (参加者の声) 足腰が弱り段差が怖い 手すりがなく不安 トイレが一つしかなくゆっくり用がたせない (参考) 平成27年度 利用者実績 開館日 179日 利用者数 1662名 (利用者) 874名 (ボランティア)</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>時期</p>	<p>具体的な取組</p>
	<p>4月</p>	<p>工事業者と打合せをする。工事期間は2週間ほどその間もおしゃべりサロン「ぬくもり」やカフェぬくもり、脳トレマージャンは行う</p>
	<p>4月～翌3月</p>	<p>○月曜日、火曜日 カフェぬくもり（お茶を飲みながら楽しいおしゃべりや情報交換） ○水曜日 脳トレマージャン（勝ち負けにこだわらず頭や手を使い認知症予防に役立てる） ○木曜日 おしゃべりサロン「ぬくもり」（歌を歌ったり小物造りをしたり身になる講座をもうけたりして楽しく過ごす） (別紙参照)</p>
<p>役割分担の想定</p>	<p>(団体の役割) 高齢者の孤立化が進む中楽しく集え交流の場を提供することは大切なことである。また居場所があり楽しく過ごせることは本人の介護予防にもなるのでその為の施設のバリアフリー化はぬくもりの家を運営していくため必要</p>	

